

科目名	小児看護援助論Ⅲ				
担当講師名	山崎 美沙都	所属・役職	主任看護教員	資格・免許	看護師
授業形態	講義・GW・演習	単位数・時間数	1 単位 15 時間	開講年次	2 学年後期
講義の概要	<p>子どもと家族が置かれている環境は多様であり、その状況を的確に判断し、子どもの健康増進・疾病予防・保育・援助方法について学習する。</p> <p>また、子どもたちには個性があり同じ疾患をもつ子どもであっても、発達段階や環境、経験によってケアも多様である。対象となる子どもと家族を支える看護の思考過程を養うため、看護過程の展開を通し、根拠となる知識を再確認しながら判断する過程を学習する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長・発達を支える健康増進・疾病予防に向けた援助を習得する</li> <li>・健康状態と発達段階に合わせた子どもの看護過程を展開できる。</li> </ul>				
講義回数	講義内容				
1 2 3 4 5 6 7 8	<p>1. 子どもの生活の場の広がり 保育所、幼稚園、こども園、子ども食堂、学習の場等</p> <p>2. 年、月齢に合わせた絵本と読み聞かせ</p> <p>3. 子どもと家族の看護過程の展開 事例：気管支ぜんそくの患児の看護 低出生体重児の看護</p> <p>1) 病気や診療・入院が子どもの成長発達に与える影響と子どものストレス 対処行動について</p> <p>2) 基本的生活習慣の確立と生活習慣に生じる問題</p> <p>3) 治療における意思決定支援 インフォームドアセント プレパレーション（バイタルサイン測定、吸入、酸素療法）</p> <p>4) 親（養育者）ときょうだいへの支援</p>				
教科書等	<p>「小児看護学概論 小児保健」 メヂカルフレンド社</p> <p>「健康障害をもつ小児の看護」 メヂカルフレンド社</p> <p>適宜、資料配布</p>				
成績評価方法	出席状況、授業参加状況、課題等により総合的に評価する。				
履修上の留意点	既習の小児看護学をふまえ授業に臨むこと。				
特記事項					